



Kringle Pharma

平成 23 年 10 月 24 日

各位

当社の研究開発テーマ「組換えHGF蛋白質による脊髄損傷治療薬」が、 (独) 科学技術振興機構の支援事業に採択されました。

この度、クリングルファーマ株式会社（本社：大阪府豊中市、代表取締役社長：岩谷邦夫）が慶應義塾大学医学部 生理学教室 岡野栄之教授および整形外科教室 戸山芳昭教授らと進めております研究開発テーマ「組換えHGF蛋白質による脊髄損傷治療薬」（代表研究者：慶應義塾大学医学部 整形外科教室 中村雅也専任講師）が、(独) 科学技術振興機構（JST）の平成23年度「研究成果最適展開支援事業（A-STEP）・本格研究開発ステージ【実用化挑戦タイプ、創薬開発】」に採択されたことをお知らせいたします。

当社は、岡野栄之教授を代表者とする先端医療開発特区プロジェクトにおいて、慶應義塾大学医学部のグループに加えて、東北大学大学院医学系研究科 神経内科 青木正志教授および糸山泰人前教授（現 国立精神・神経医療研究センター病院長）、旭川医科大学 教育研究推進センター 船越洋教授らと連携し、難治性神経疾患を対象に組換えHGF蛋白質の医薬品開発を進めてまいりました。

従来、脊髄損傷の治療は急性炎症に対する対症療法、損傷部位の外科的修復、あるいはリハビリ療法を中心に行われてきました。しかし、患者の運動機能の回復は極めて限定的であるため、損傷や二次性の炎症からの保護や脊髄神経の再生などを促す根本的な治療薬の開発が強く求められています。今回採択された支援事業では、神経の保護・再生を促す組換え HGF 蛋白質の急性期脊髄損傷に対する有効性を臨床試験で確認することを目標とします。

当社代表取締役社長 岩谷邦夫は、「東北大学病院での筋萎縮性側索硬化症を対象とする第Ⅰ相臨床試験に続き、今回の支援事業により脊髄損傷を対象とする臨床開発を推進することができます。組換え HGF 蛋白質による脊髄損傷治療薬を実用化することにより、患者の運動機能を回復させ生活の質（QOL）を改善させると共に、さらには介護者の負担を軽減して、社会福祉・医療経済に大きく貢献することが期待されます。」と述べております。

HGF（Hepatocyte Growth Factor、肝細胞増殖因子）について：

成熟肝細胞の増殖を促進する因子として大阪大学 中村敏一名誉教授により発見された生理活



Kringle Pharma

性蛋白質で、その後の研究からHGFが腎尿細管細胞を含む各種上皮系細胞・組織や心血管系組織などに生物活性を示すことが明らかにされました。HGFは細胞の増殖や組織の再構築を促す活性に加え、細胞死を防ぐ活性や血管新生を促す活性を発揮することによって、傷害や病態に対する組織の再生や保護を支えています。さらに、脳神経系組織では、神経細胞（ニューロン）に対して強力な保護・再生作用を示すことが解ってきました。脊髄損傷に対してHGFが治療効果を有することは、慶應義塾大学医学部 生理学教室 岡野栄之教授および整形外科学教室 戸山芳昭教授らのグループによる圧挫損傷動物モデル（ラットおよびマーモセット）で実証されました。これらの研究を端緒に、脊髄損傷の治療薬として組換えHGF蛋白質を開発することに期待が高まっています。

クリングルファーマ株式会社について：

大阪大学発創薬バイオベンチャーとして2001年12月に設立、HGFによる新規バイオ医薬品の開発を目指しています。現在、HGF組換え蛋白質を 1)急性腎不全、2)難治性神経疾患の治療薬として開発を進めています。より詳細な情報は、当社ウェブサイト（www.kringle-pharma.com）をご覧ください。

先端医療開発特区（「スーパー特区」）プロジェクトについて：

【課題名】中枢神経の再生医療のための先端医療開発プロジェクトー脊髄損傷を中心にー
[代表者；岡野栄之（慶應義塾大学）]

本プロジェクトは、脊髄損傷、脳梗塞、筋萎縮性側索硬化症といった未だ有効な治療方法が確立されていない中枢神経系疾患領域において、我が国で発見、開発された薬剤や細胞を用いた基礎研究をもとに、これら疾患の再生医療実現を目指すものです。

JSTのA-STEPについて：

支援事業の詳細は、JSTのウェブサイト（www.jst.go.jp/a-step/index.html）に掲載されています。

問合せ先

本プレスリリースに関するお問合せは、以下までお願いいたします。

阿部哲士

クリングルファーマ株式会社

取締役医薬開発部長

電話 06-6831-3330、電子メール info@kringle-pharma.com